

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 28 号	氏名	Vu Dinh Thiem
学位審査委員	主 査	森内 浩幸	
	副 査	中込 治	
	副 査	橋爪 真弘	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、ベトナムの小児（5歳未満）下痢症入院例において、家畜への曝露が発症リスクを高めるかどうかを明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 既に大規模住民横断調査が行われ、社会因子、家屋構造、水道、家畜に至るまでの情報が得られている 2 箇所のコホートにおいて、入院が必要な小児がほぼ全員収容される 2 つの地域中核病院入院例を対象に様々な因子の影響を統計学的に検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 51,241 人年の追跡調査で 3,116 の下痢症入院のエピソードを認め、そのうちの 1,811 エピソードで住民調査データとのリンクが可能で解析されたことから、質的にも量的にも十分なデータ解析ができたと考えられた。対象地域の家屋のうち 32%が鶏または鴨、10%が牛または水牛、6%が豚、50%が犬、17%が猫を飼っていたが、これら家畜の所有の有無は小児下痢症入院のリスクとして統計学的有意差を示すことはできなかった。これらの結果はベトナムにおける小児下痢症の公衆衛生対策において、家畜管理への介入の優先順位は高くないことを示しており、今後の公衆衛生施策に寄与するものでもある。</p> <p>以上のように本論文は消化管感染症の公衆衛生学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			